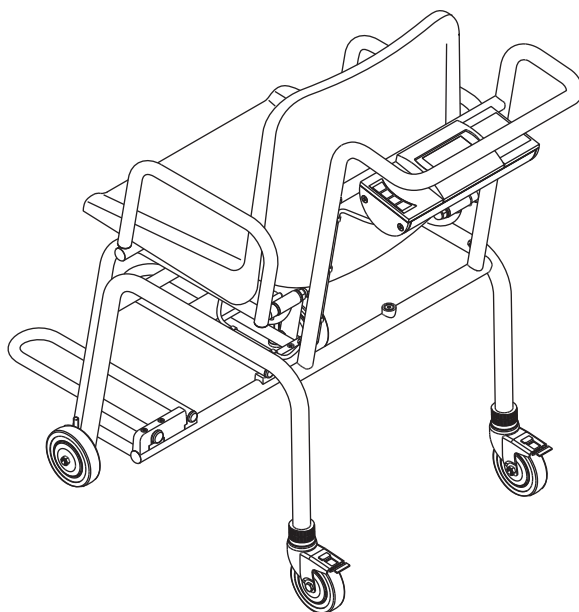


seca 963



目次

1. 製品についての説明	4	5. 操作	23
1.1 お買い上げいただき、 ありがとうございます！	4	5.1 体重計を調整する	23
1.2 用途	4	5.2 体重を測定する	24
1.3 機能の説明	4	体重計の電源をオンにする	25
1.4 使用者に求められる資格	5	患者の体重を測定する	25
組み立て	5	風袋重量を差し引く (TARE)	26
操作	5	測定結果を表示し続ける (HOLD)	27
2. 安全に関する情報	5	体格指数を算出・評価す る (BMI)	27
2.1 この取扱説明書での安全上 のご注意	5	BMI を自動的に算定し、印刷 する	28
2.2 基本的な安全上のご注意	6	測定結果をワイヤレス受信 機器に送信する	29
製品の取り扱い	6	体重測定範囲の自動切替	29
負傷の回避	8	体重計の電源をオフにする	29
感電の回避	8	5.3 その他の機能 (メニュー)	30
感染の回避	9	メニュー内を移動する	30
製品の破損の回避	9	保存した値を自動的に削除 する (ACIr)	31
測定結果の取り扱い	10	風袋重量を保存したままに する (Pt)	31
梱包材の取り扱い	10	自動保持機能をオンにする (Ahold)	32
2.3 乾電池と充電電池の扱い	11	シグナル音をオンにする (BEEP)	32
3. 概観	12	抑制を設定する (Fil)	33
3.1 操作部	12	工場出荷時の設定に戻す (RESET)	34
3.2 メニュー構造	14	6. ワイヤレスネットワーク	
3.3 ディスプレイのアイコン	15	seca 360° wireless	35
3.4 製品および型番プレートに 記されているマーク	15	6.1 はじめに	35
3.5 梱包材に表記されているマ ーク	16	seca ワイヤレスグループ	35
4. ご使用になる前に …	17	チャンネル	36
4.1 納品物	17	製品の認識	36
4.2 製品を組み立てる	18	6.2 ワイヤレスグループ内の体 重計の使用 (メニュー)	37
グリップを組み立てる	18	ワイヤレスモジュールをオ ンにする (SYS)	37
ディスプレイ筐体を取り付 ける	18	ワイヤレスグループを設定 する (Lm (記憶させる))	37
ロードセルを固定する	19		
座面を組み立てる	20		
ひじ掛けを組み立てる	20		
4.3 電源を供給する	21		
バッテリーパックを収納 する	21		
AC アダプターを接続する	22		

自動送信をオンにする (ASend (自動送信))	39	10.1 メンテナンスおよび再検 定についての情報	46
印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ ..	40	10.2 度量衡メーター内容を検証 する	46
時刻を設定する (Time (時刻))	40	11. 技術データ	47
7. 衛生管理	41	11.1 一般的な技術データ	47
7.1 清掃	42	11.2 重量測定データ	48
7.2 消毒	42	12. オプションの付属品	49
7.3 滅菌	42	13. 交換部品	49
8. 機能点検	43	14. 廃棄処分について	50
9. こんなときはどうする?	43	14.1 製品	50
10. メンテナンス / 再検定	46	14.2 乾電池と充電電池	50
		15. 保証	50

1. 製品についての説明

1.1 お買い上げいただき、ありがとうございます！

ご購入いただいたこのデジタルチェアスケール **seca 963** は、高精度でしかも頑丈な製品です。

170年以上にわたって **seca** 社は健康関連の事業で経験を重ね、マーケットリーダーとして世界各国で体重測定と測定向けの先進的開発によって、新たな基準を打ち立て続けています。

1.2 用途

デジタルチェアスケール **seca 963** は、各国の規定に準拠した上で主に病院、クリニック、老人介護施設で使用されています。

この体重計は、従来の体重測定や全般的栄養状態の把握に対して使用でき、また担当の医師が診断を下し、あるいは治療法を決定するのを支援します。

ただし正確な診断を下すには、体重測定以外にも担当医師が適切なその他の検査を手配し、その結果を考慮する必要があります。

1.3 機能の説明

デジタルチェアスケール **seca 963** では、1つのロードセルで重量算出を行います。

seca 963 は、通常の体重測定だけでなく、BMIを算出する機能も備えています。キーボードで身長を入力すると、体重値に見合ったBMIが自動的に算定されます。**seca 360° wireless** システムの身長計は、身長を **seca 963** へワイヤレスで転送することができます。

測定結果は、ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** を通じて **seca** ワイヤレスプリンターや **seca** USB ワイヤレスアダプターに、また互換性のある **seca** PC ソフトウェア搭載のパソコンにワイヤレスで転送されます。

seca 963 は、キャストで移動できるのを特徴とし、また電力消費が少なくバッテリーパックを使用して長時間ご利用いただけます。

seca 963 は、人や物の搬送を考慮してデザインされていません。このチェアスケールは、4 ページ「用途」に明記されている目的にのみご使用ください。

1.4 使用者に求められる資格

組み立て 製品の組み立てに関しては、必ず十分な知識を有する人物（例えば専門業者、病院の技術者または seca サービス）が組み立てるようにしてください。

操作 この製品の操作は、必ず医療関係の専門家が行ってください。

2. 安全に関する情報

2.1 この取扱説明書での安全上のご注意



危険！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながります。



警告！

危険な状況が甚大であることを表示しています。この注意を無視した場合、重大で取り返しのつかない事故あるいは死傷事故につながることがあります。



注意！

危険な状況を示します。この注意を無視した場合、軽度から中程度の負傷事故につながる可能性があります。

気をつけて！

製品の操作を誤っている可能性があることを表示します。この注意事項を無視した場合、製品の損傷や誤った測定結果につながる可能性があります。

注意事項

この製品の使用に関する追加的な情報を含んでいます。

2.2 基本的な安全上のご注意

- 製品の取り扱い**
- 取扱説明書に記載されている注意事項を守ってください。
 - 取扱説明書は大切に保管してください。本取扱説明書は製品の一部であり、常時参照できる状態にしておいてください。



危険！ 爆発の危険

この製品は、以下のガスが充満する環境に設置しないでください。

- 酸素
- 可燃性の麻酔ガス
- その他の発火するおそれのある物質 / 混合気



注意！ 患者の身に危険、製品の破損

- 電子医療機器と接続する追加製品は、適切な IEC または ISO 規格（例えば電算処理機器には IEC 60950）に準拠していることが証明されているものでなければなりません。その他、設定はすべて、医療システム用の規格要件を満たしている必要があります（IEC 60601-1-1 または IEC 60601-1 第 3 版第 16 章を参照）。電子医療機器に追加製品を接続する方は、システム設定者であり、システムがそのシステムに対する規格要件に一致していることに責任を負います。ただし各地域の法律は、上に挙げた規格要件よりも優先されることを指摘しておきます。ご不明の点がありましたら、現地の専門業者か技術サービスにご連絡ください。
- 本文書の該当する節に説明されているように、定期的にメンテナンスと再検定をご依頼ください。
- 本文書の該当する節に説明されているように、定期的にメンテナンスをご依頼ください。
- 製品における技術的な変更は許可されていません。本製品には、使用者様ご自分でメンテナンスを行う部品は含まれていません。メンテナンスおよび修理は、必ず正規の seca サービス担当者にご依頼ください。最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探しください。あるいは info@seca.co.jp にメールしてください。

- ・必ず seca の純正部品と、同じく純正の交換部品をご使用ください。その他のものを使用した場合には保証が適用されません。

**注意！****患者の身に危険、誤作動**

- ・誤測定や無線転送時の障害を避けるために、高周波機器といった電子医療機器とは、最低でも約 1 メートルの距離をあけてください。
- ・誤測定や無線転送時の障害を避けるために、携帯電話といった HF（短波）機器とは、最低でも 1 メートルの距離をあけてください。
- ・HF 機器の実際の送信能力によって、最低でも 1 m を超える距離が必要な場合があります。詳細は www.seca.com をご覧ください。

**注意！****患者の身に危険、製品の破損**

- ・このチェアスケールは、必ず専門スタッフの監視下で使用してください。
- ・使用時は毎回、固定ブレーキが効いていることを確認してください。
- ・体重計が、不意に走り出さないように固定してください。固定ブレーキをかけてください。
- ・チェアスケールで人や物を運ばないでください。
- ・チェアスケールを移動するときは必ず固定ブレーキを解除してください。

気をつけて！**フォースシャントによる誤測定**

付属品（例えば電源製品用バッグ）または衣服が座面と骨組みの間に挟まっていると、体重が正しく測定されません。

患者の足が足台に乗っていないと、体重が正しく測定されません。

- 座面と骨組みの間に物体がないかを確認してください。
- 体重測定中、ひじ掛けが下ろされていることを確認してください。
- 体重測定中、患者の足が足台に乗っていることを確認してください。

負傷の回避



注意！ 転落による負傷

体が思うように動かない人は、体重計に座る、または立ち上がる際に転倒することがあります。

- 接続ケーブル（ある場合）は、使用者と患者が足を引っかけてつまづかないように敷設します。
- チェアスケールの固定ブレーキがかかっていることを確認してください。
- 体が思うように動かない人の場合、体重計へ座るとき、および立ち上がるときに、その体を支えてください。
- 患者が体重計に腰掛ける、または再び立ち上がる前には、脚部の支えが差し込まれ（モデルごとに異なる）、跳ね上げられていることを確認します。



注意！ 挟まれて怪我をする

患者と使用者の手と腕が座面と台座の間、および座面とひじ掛けの間に挟まれることがあります。

- 患者が座る際に手助けする場合は、腕と手が座面よりも上に来ているようにしてください。
- 体重測定中、患者の手と腕がひじ掛けまたは膝に乗っていることを確認してください。

感電の回避



警告！ 感電

- ACアダプターを使用する製品は、電源コンセントへ容易にアクセスできるように、かつ電源の遮断をすぐに実行できるように設置してください。
- お住まいの地域の電源供給がACアダプターの記載と一致していることを確認してください。
- ACアダプターに濡れた手で触れることは、かたく禁じます。
- 延長コードやマルチコンセントタップは使用しないでください。
- ケーブルが押しつぶされたり、あるいは鋭い角で損傷しないよう注意してください。
- ケーブルが、熱を持った物体に接触しないよう注意してください。

- この製品は、海拔 3000 m よりも高いところで使用しないでください。

感染の回避



警告！

感染の危険

- この製品は、本文書の該当する節で説明したように、定期的に衛生管理を行ってください。
- 患者が感染性の疾患にかかっていないことを確認してください。
- この製品に接触する可能性のある、患者の身体部分に口のあいた傷や伝染性の皮膚の変容がないことを確認してください。

製品の破損の回避

気をつけて！

製品の破損

- 液体が製品の内部に入らないように注意してください。液体が入ると電子機器が壊れることがあります。
- AC アダプターをコンセントから抜く前に、製品の電源をオフにしてください。
- 製品を長期間にわたって使用しないときには、AC アダプターをコンセントから抜いておきます。そうしないと製品には電流が流れ続けます。
- 製品を落とさないでください。
- この製品に衝撃や振動を与えないでください。
- この文書の該当する節で説明したように、定期的に機能点検を実施してください。正常に機能しない、または損傷している状態でこの製品を使用することは許されません。
- この製品は直射日光にさらさないでください。また熱源のすぐ近くに置かないでください。温度が高すぎると電子機器が壊れることがあります。
- 急な温度変化も避けてください。この製品を移送し、環境の気温変化が 20 °C を上回る場合には、スイッチを入れるまで最低 2 時間は製品を新しい環境になじませてください。そうしないと結露が生じ、それが電子機器を壊すことがあります。
- 刺激性のある洗浄剤は、表面を損傷させることがあります。刺激性のないせっけん液をしみこませたやわらかい布だけを使用してください。

- 必ず、デリケートな表面に適した消毒液（中性洗剤）を使用してください。適切な消毒液（中性洗剤）は、専門店で購入できます。

測定結果の取り扱い



警告！ 患者の身に危険

この製品は、診断用機器ではありません。この製品は、担当の医師が診断を下すのを支援します。

- 正確な診断を下し、治療開始するには、この製品を使用する他に、担当の医師は適切な検査を指示し、その結果に配慮する必要があります。
- 診断とそこから導き出される治療の責任は、担当する医師が負います。

気をつけて！

整合性を欠いた測定結果

- この製品による測定値を保存、再利用（例えば、seca PC ソフトウェアや病院内情報システムでの利用）する前に、その測定値が妥当なものであることを確認してください。
- 測定値が seca PC ソフトウェアへ、または病院内情報システムへ転送される場合、それを再利用する前に、その測定値が妥当なもので、本当に対象としている患者のものであることを確認してください。

梱包材の取り扱い



警告！ 窒息の危険

プラスチックフィルム製の梱包材（ビニール袋）には、窒息を引き起こす危険があります。

- 梱包材は、子供の手が届かないように保管してください。
- 本来の梱包材がなくなっている場合、窒息の危険を低下させるために、使用するビニール袋には必ず安全のための穴をあけてください。

注意事項

製品納品時に使用されていた梱包材は、後で使用できるように保管しておいてください（例えば、メンテナンスのための返送のため）。

2.3 乾電池と充電電池の扱い

seca の製品と一緒に納入されるのが、バッテリーパックか乾電池かはモデルごとに異なります。以下の安全上のご注意に留意してください。



警告！

不適切な扱いによる人体の被害

乾電池や充電電池は有害な物質を含んでおり、不適切な扱いをすると激しい勢いで噴出することがあります。

- 乾電池の再充電を試みることはお止めください。
- 乾電池 / 充電電池を加熱してはいけません。
- 乾電池 / 充電電池を燃焼させてはいけません。
- 酸が漏れ出した場合には、皮膚、目、粘膜に触れないようにしてください。触れてしまった身体箇所があれば、十分に清浄な水ですすぎ流し、すぐに医師の診察を受けてください。

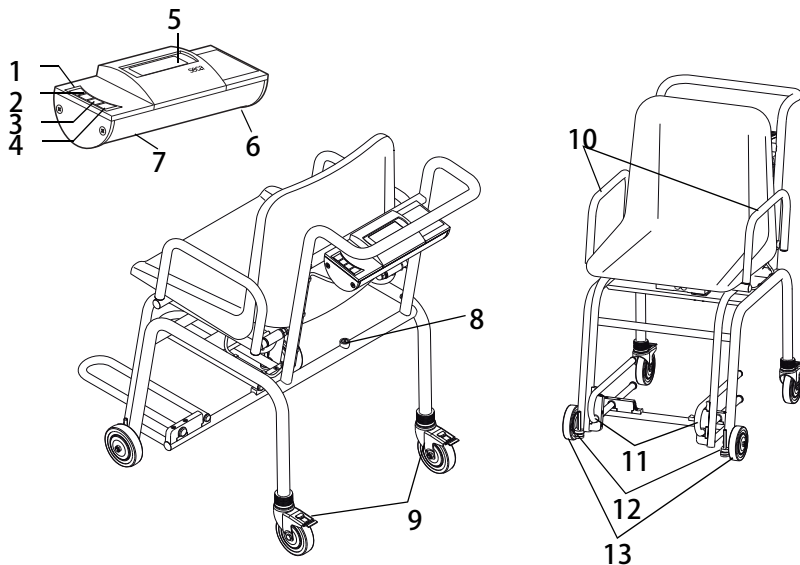
気をつけて！


不適切な扱いによる製品の破損および誤作動


- 必ず、この文書に記載されている乾電池タイプ / 充電電池タイプをご使用ください。
- すべての乾電池 / 充電電池は必ず同時に交換してください。
- 乾電池 / 充電電池をショートさせてはいけません。
- 製品を長い間ご使用にならない場合には、乾電池 / 充電電池を取り外してください。そのようにすれば酸が製品に漏れ出すということがありません。
- 酸が製品の中に流れ込んだ場合、それ以降は製品を使わないでください。製品を正規の seca サービス担当者に検査を依頼し、必要な場合は修理を依頼してください。

3. 概観

3.1 操作部

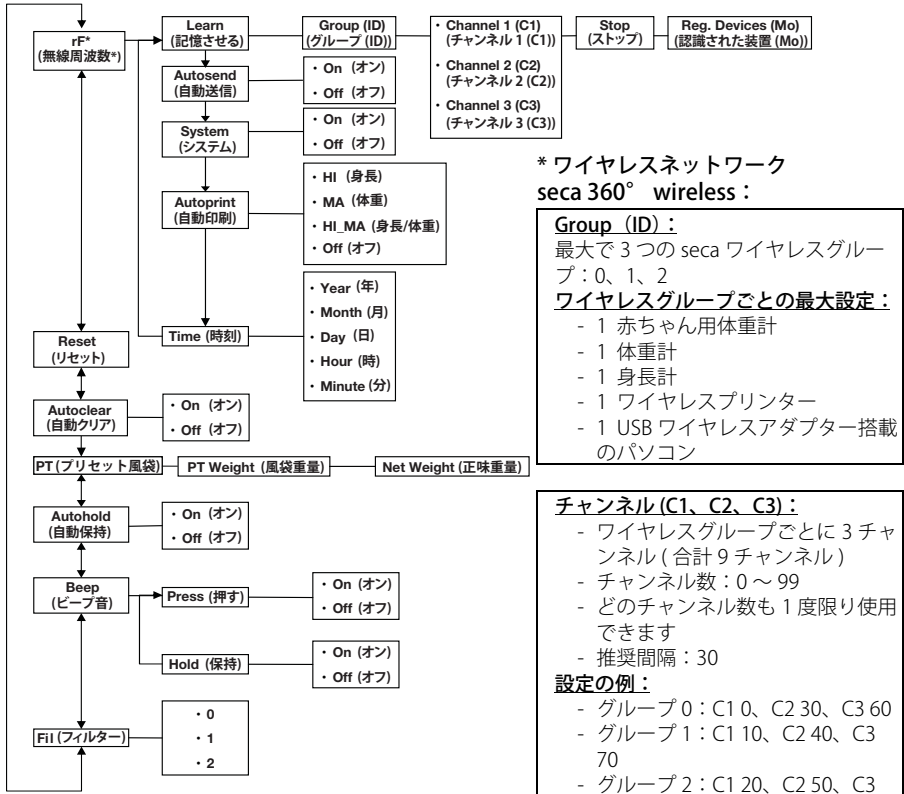


No.	操作部	機能
1		体重計のオン/オフ
2		矢印ボタン ・ 体重測定の間： - 短く押す：保持機能をオンにする - 長く押す：風袋引き機能をオンにする ・ メニュー内： - サブメニューを選択する、メニューポイントを選択する - 値を大きくする
3		矢印ボタン ・ 体重測定の間： - 短く押す：BMI 機能をオンにする - 長く押す：メニューを呼び出す ・ メニュー内： - サブメニューを選択する、メニューポイントを選択する - 値を小さくする

No.	操作部	機能
4		<p>エンターボタン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体重測定の間（ワイヤレスネットワークが設定されているとき） <ul style="list-style-type: none"> - 短く押す：測定結果を受信可能な機器（USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン）に送信する - 長く押す：測定結果を印刷する（ワイヤレスプリンター） ・ メニュー内： <ul style="list-style-type: none"> - 選択したメニューポイントを確定する - 設定した値を保存する
5	ディスプレイ	測定結果および体重計の設定のための表示部
6	電池収納スペース	バッテリーパックの収納
7	電源接続部	同梱の AC アダプターの接続に使用する
8	水準器	製品が水平に設置されているかを表示します
9	移動用キャスター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操縦可能 ・ 高さ調節可能 ・ 固定ブレーキ装備 <p>これらのキャスターで体重計を移動できます。これらのキャスターで体重計を正確に位置調整できません。</p>
10	ひじ掛け	向きの変更が可能。それにより患者が座りやすくなります
11	足台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向きの変更が可能 ・ 引き出しが可能 <p>正確に測定するためには、患者の足を足台に載せておく必要があります</p>
12	脚部調整ねじ	2 個、正確に位置調整するために使用します
13	移動用キャスター	これらのキャスターで体重計を移動できます

3.2 メニュー構造

この製品のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。このようにして、この製品をご利用の使用条件に最もよく合うように設定できます（詳細は30ページ以降を参照）。



*** ワイヤレスネットワーク
seca 360° wireless :**

Group (ID) :
最大で3つの seca ワイヤレスグループ：0、1、2
ワイヤレスグループごとの最大設定：

- 1 赤ちゃん用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1 ワイヤレスプリンター
- 1 USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン

チャンネル (C1、C2、C3) :

- ワイヤレスグループごとに3チャンネル (合計9チャンネル)
- チャンネル数：0～99
- どのチャンネル数も1度限り使用できます
- 推奨間隔：30

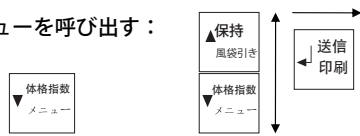
設定の例：

- グループ0：C1 0、C2 30、C3 60
- グループ1：C1 10、C2 40、C3 70
- グループ2：C1 20、C2 50、C3 80

(注意事項：ディスプレイには空スペースなし)

ナビゲーション：

メニューを呼び出す：



検知される製品 (Mo) :

- 1：体重計
- 2：身長計
- 3：ワイヤレスプリンター
- 4：USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン
- 7：赤ちゃん用体重計

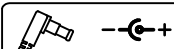


3.3 ディスプレイのアイコン










	アイコン	意味
A		バッテリーパックの容量が少なくなっている
B		AC アダプターによる運転
C		検定不能機能がオンになっている
D		現在使用中の重量測定領域 ((47 ページ「技術データ」を参照))

3.4 製品および型番プレートに記されているマーク

テキスト / 表示マーク	意味
Mod	モデル番号
S/N	シリアル番号
ProdID	製品識別番号
	取扱説明書に留意
	電子医療機器 (タイプ B) (ヨーロッパ内)
	保護絶縁された製品、保護クラス II (ヨーロッパ内)
M	製品は指令 2009/23/EC に適合 (ヨーロッパ内に限定)
e	<ul style="list-style-type: none"> 体重計の評価や検定に使用される質量値 二つの連続する表示値の差異を示す質量値
→ X ←	有効な測定領域
	<ul style="list-style-type: none"> 指令 2009/23/EC に準じて検定 クラス III (ヨーロッパ内に限定) 精度等級 3 級 (日本国内に限定)
	特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則に適合。 認証番号: 202WW09118012

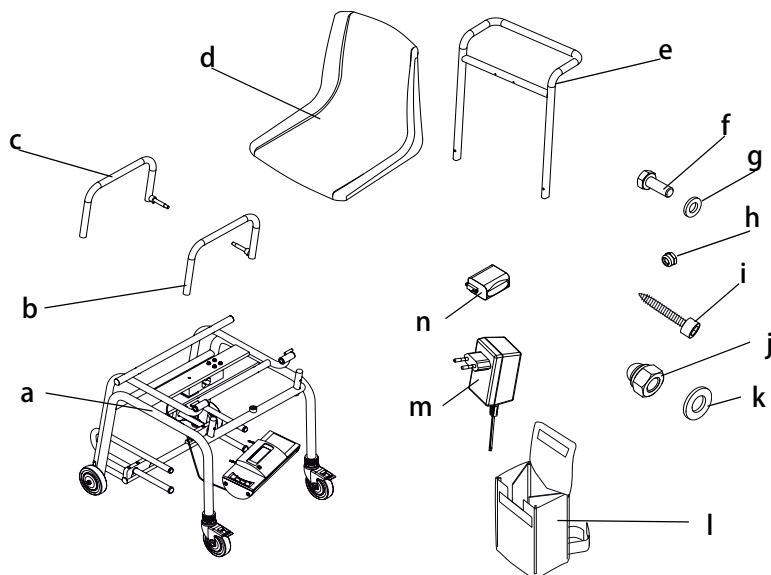
テキスト / 表示マーク	意味
 <p>x-y V == max. xxx mA use compatible seca adapter only</p> 	<p>電源接続ポートの型番プレート</p> <ul style="list-style-type: none"> • x-y V 必要な供給電圧 • max. xxx mA 最大電力消費 •  電源プラグの極性に注意 • == 製品は直流電流のみを使用

3.5 梱包材に表記されているマーク

	水から保護すること
	必ず製品の箱を矢印の向きが上になるようにする直立状態で輸送・保管を行うこと
	取扱注意 投げたり落としたりしないこと
	輸送・保管時の最小 / 最大許可温度
	輸送・保管時の最小 / 最大許可湿度
	ここで梱包材を開きます
	梱包材はリサイクルプログラムで廃棄可能

4. ご使用になる前に …

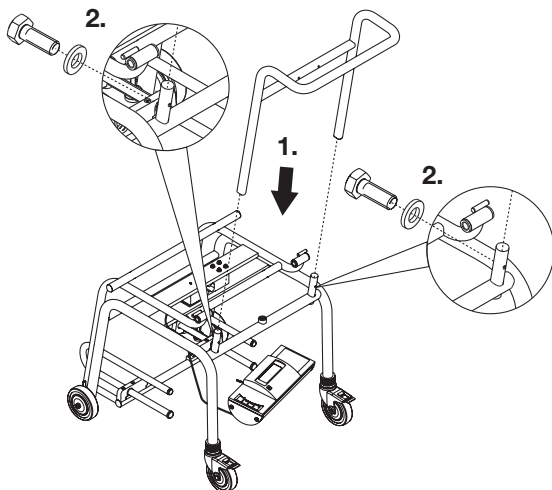
4.1 納品物



No.	構成部品	個数
a	台座、一式 - 椅子の骨組み - ロードセルと配線されたディスプレイ筐体 - ケーブルクリップ付きロードセルケーブル - 足台	1
b	ひじ掛け、左	1
c	ひじ掛け、右	1
d	座面	1
e	グリップ	1
f	六角ボルト M6 x 16	2
g	フラットワッシャー 6.4 mm	2
h	六角ナット M4 (樹脂ロックされます)	2
i	タッピンねじ、六角穴付き、B 6.3 x 38	4
j	キャップナット、M10	2
k	フラットワッシャー、10.5 mm	2
l	AC アダプターキャリアバッグ seca 471	1
m	AC アダプター	1
n	バッテリーパック	1
-	六角穴スパナ、SW 5 (図なし)	1
-	取扱説明書 (図なし)	1

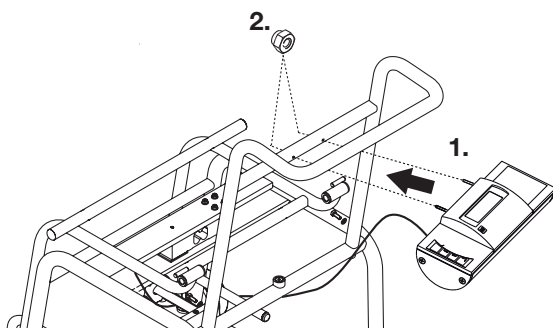
4.2 製品を組み立てる

グリップを組み立てる



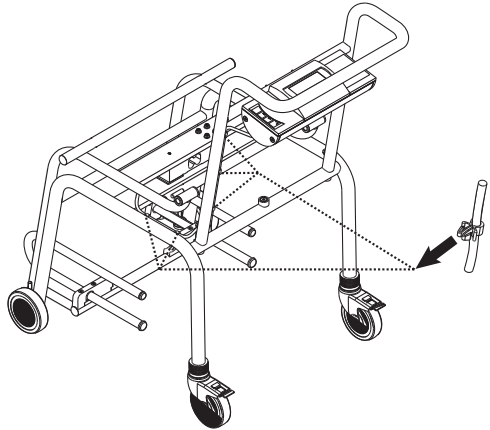
1. グリップを台座の軸芯に差し込みます。
2. グリップを台座にねじ留めします (2x六角ボルト M6 x 16 とフラットワッシャー 6.4 mm を使って)。

ディスプレイ筐体を取り付ける



1. ディスプレイ筐体の固定ボルトをグリップの穴に通します。
2. ディスプレイ筐体をグリップにねじ留めします (2x六角ナット M4 (樹脂ロックされます) を使って)。

ロードセルを固定する

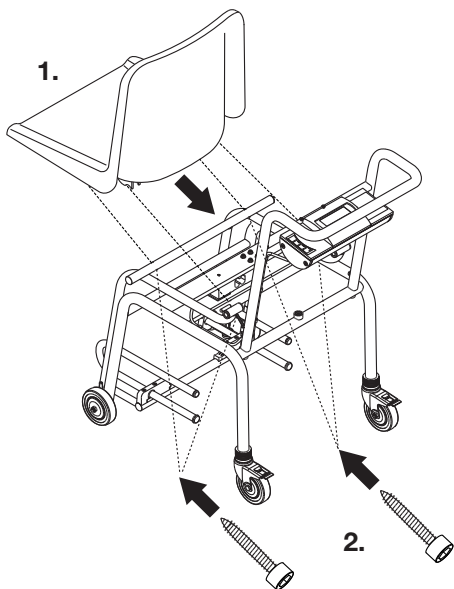
**気をつけて！****誤った組み立てによる誤作動**

例えば大きくたわんでいたり、プラグが折れ曲がっていたりしてケーブルに張力がかかっていると誤った表示やディスプレイの故障が発生することがあります。

- すべてのケーブルは、強くたわむことがないように、またプラグが折れ曲がらないように設置してください。
- すべてのケーブルを適切な留め金に配置し、引っ張られることがないように注意してください。

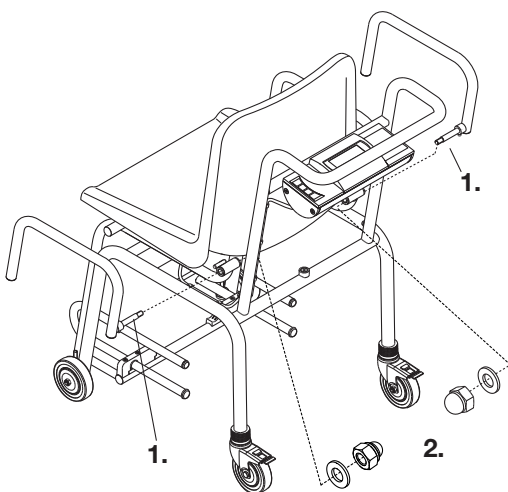
- ◆ ケーブルクリップ（工場出荷時に既にロードセルケーブルに固定済み）を台座とグリップの穴に、音がしてかみ合うまで押し込みます。

座面を組み立てる



1. 座面を椅子の骨組みに合わせます。
2. 座面を椅子の骨組みにねじ留めします（4x ツツピンねじ、六角穴付き、6.3 x 38）。

ひじ掛けを組み立てる



気をつけて！**誤った組み立てによる誤作動**

ひじ掛けが組立前に誤った位置に合わされていると、組立後に折り畳むことができません。

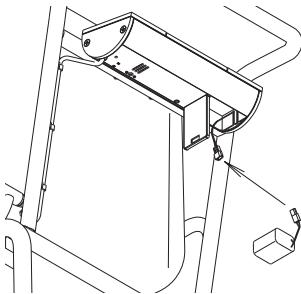
－ ひじ掛けは、図に表示されているとおりに位置を合わせます。

1. ひじ掛けのボルトを椅子の骨組みの肘掛の取り付け穴に通します。
2. ひじ掛けを椅子の骨組みにねじ留めします（1x キャップナット M10 とフラットワッシャー 10.5 mm を使って）。
3. 手順「1.」と「2.」を二つ目のひじ掛けに対して繰り返します。

4.3 電源を供給する

体重計への電源供給は、バッテリーパックまたは AC アダプター（両方とも納品物に含まれています）によって行われます。

バッテリーパックを収納する



1. 電池収納スペースのカバーを押します。
2. 電池収納スペースのカバーを開きます。
3. 接続ケーブルを電池収納スペースから引き出します。
4. 接続ケーブルをバッテリーパックに接続します。
5. そのバッテリーパックを電池収納スペースにセットします。
6. 電池収納スペースを閉じます。

AC アダプターを接続する

バッテリーパックは、同梱の AC アダプターで充電します。



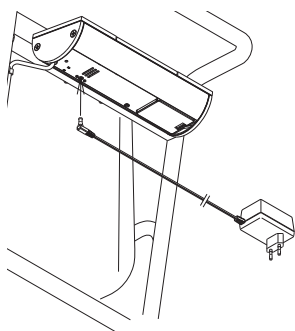
警告！

不適切な AC アダプターによる人身傷害および製品の破損

市販の AC アダプターは、本製品に指定されている電圧より高い電圧を供給するおそれがあります。その場合、製品が過熱し、発火が生じたり、ヒューズが飛んだり、ショートが生じるおそれがあります。

– 必ず、供給される電圧が 12V となる seca オリジナル AC アダプターをご使用ください。

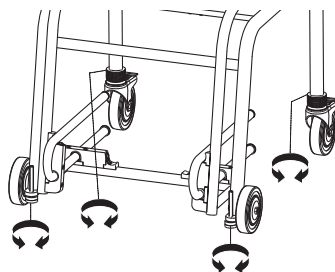
1. 電源供給に必要な電気系統のプラグを AC アダプターに差し込んでください。
2. AC アダプターのコネクターを体重計の接続ジャックに差し込みます。
3. AC アダプターを電源コンセントに差し込みます。
4. 初めて充電するときにはチェアスケールを 24 時間以上電源に繋ぎ続け、バッテリーパックを完全に充電します。



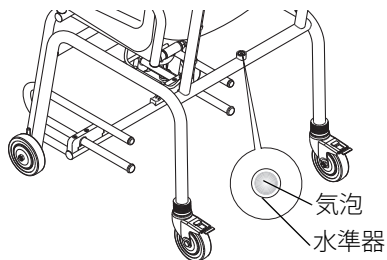
5. 操作

5.1 体重計を調整する

1. 体重計は堅い平面上に設置するようにしてください。
2. 体重計の位置を調整します。
 - 前方のキャスターに付いた脚部調整ねじで
 - 後方のキャスターに付いたローレット頭ネジで



水準器の気泡が正確に円のちょうど中央に来るように調整してください。



5.2 体重を測定する



注意！ 転落による負傷

体が思うように動かない人は、体重計に座る、または立ち上がる際に転倒することがあります。

- 接続ケーブル（ある場合）は、使用者と患者が足を引っかけてつまづかないように敷設します。
- チェアスケールの固定ブレーキがかかっていることを確認してください。
- 体が思うように動かない人の場合、体重計へ座るとき、および立ち上がるときに、その体を支えてください。
- 患者が体重計に腰掛ける、または再び立ち上がる前には、脚部の支えが差し込まれ（モデルごとに異なる）、跳ね上げられていることを確認します。



注意！ 挟まれて怪我をする

患者と使用者の手と腕が座面と台座の間、および座面とひじ掛けの間に挟まれることがあります。

- 患者が座る際に手助けする場合は、腕と手が座面よりも上に来ているようにしてください。
- 体重測定中、患者の手と腕がひじ掛けまたは膝に載っていることを確認してください。

気をつけて！

フォースシャントによる誤測定

付属品（例えば電源製品用バッグ）または衣服が座面と骨組みの間に挟まれていると、体重が正しく測定されません。

患者の足が足台に載っていないと、体重が正しく測定されません。

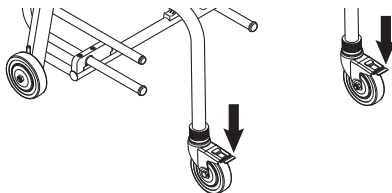
- 座面と骨組みの間に物体がないかを確認してください。
- 体重測定中、ひじ掛けが下ろされていることを確認してください。
- 体重測定中、患者の足が足台に載っていることを確認してください。

体重計の電源をオンにする

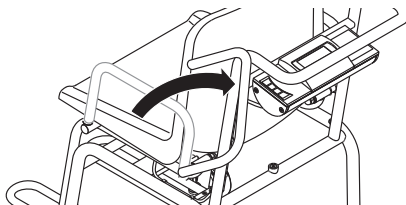
- ◆ スタートボタンを押す
ディスプレイのすべての操作部が一瞬表示された後、ディスプレイに **SECA** と表示されます。ディスプレイに **0.00** と表示されれば体重計は準備完了です。
体重計が AC アダプターで運用されている場合、**⚡** というマークが表示されます。

患者の体重を測定する

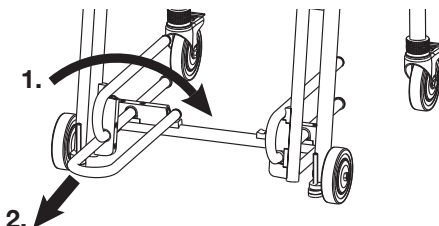
1. 後方キャスターの固定ブレーキをかけます。



2. 患者が座りやすいように、ひじ掛けを後ろへ上げます。



3. 体重計に負荷がかかっていないことを確認してください。
4. 体重計の電源をオンにします。
5. 患者に体重計の上に座ってもらいます。
6. 足台を下へ倒します。



7. 足台を衝撃があるまで引き出します。
8. 患者に足を足台に載せてもらいます。
9. ひじ掛けを前に倒します。



風袋重量を差し引く (TARE)

10. 測定結果を読み取ります。

風袋引き (TARE) 機能を使って、風袋重量 (例えば、計量面に敷くタオルや敷物) が体重測定結果に影響を与えるのを回避することができます。

気をつけて!

フォースシャントによる誤測定

但し、大きなタオルなどの風袋重量が、体重計を設置した床面に触れていると体重を正確に測定することができません。

– 風袋重量が体重計の計量台にのみかかっていることを確認してください。



1. 体重計の電源をオンにします。
2. 風袋重量を体重計の上に載せます。
3. 矢印ボタン (保持 / 風袋引き) を、「NET」というメッセージがディスプレイに表示されるまで押し続けます。
4. その表示が点滅しなくなり、代わりに **0.00** が表示されるまで待ちます。
5. 患者の体重を「患者の体重を測定する」の手順に従って測定します。
6. 測定結果を読み取ります。
風袋重量が自動的に差し引かれています。

7. 風袋引き (TARE) 機能をオフにするには、矢印ボタン (保持 / 風袋引き) を「NET」というメッセージが表示されなくなるまで押すか、または体重計の電源をオフにします。

注意事項

最大表示可能体重は、すでに載せられている物の重さだけ差し引かれます。

測定結果を表示し続ける (HOLD)

保持 (HOLD) 機能をオンにすると、体重値は体重計に重さがかからなくなっても表示され続けます。そのため、まだ体重値を記録していなくても患者のケアをすることができます。

1. 体重計に負荷がかかっていないことを確認してください。
2. 体重計の電源をオンにします。
3. 患者の体重を「患者の体重を測定する」の手順に従って測定します。



4. 矢印ボタン（**保持 / 風袋引き**）を短く押します。

表示は、測定されている体重が安定するまで点滅します。安定すると体重値が表示されたままになります。 アイコン（測定値は検定対象外）および「HOLD」というメッセージが表示されます。

5. 保持 (HOLD) 機能をオフにするには、矢印ボタン（**保持 / 風袋引き**）を短く押します。
 アイコンおよび「HOLD」というメッセージが表示されなくなります。

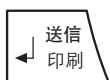
注意事項

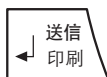
自動保持機能がオンになっていると、体重計の電源がオフになるか、または電源をオフにするまで、体重値が自動的に常時表示され続けます（32 ページ「自動保持機能をオンにする (Ahold)」を参照）。

体格指数を算出・評価する (BMI)

BMI は、身長と体重の相関関係を表わし、それにより Broca に基づく理想体重などよりも正確なデータを作成することができます。健康的に最適とみなされる許容範囲が表示されます。

1. 体重計に負荷がかかっていないことを確認してください。
2. 体重計の電源をオンにします。
3. 矢印ボタン（**体格指数 / メニュー**）を短く押しします。「BMI」というメッセージが表示されます。ディスプレイに矢印が点滅します。最後に入力された身長が表示されます。
4. 表示された身長を受け入れるか、または矢印ボタンを使って他の身長を設定することができます。
5. エンターボタン（**送信 / 印刷**）で、選択した設定を確定します。
6. 患者の体重を「患者の体重を測定する」の手順に従って測定します。
7. BMI を読み取り、その値をさらに下に表示されるカテゴリと比較します。





8. BMI 機能をオフにするには、エンターボタン（送信 / 印刷）を短く押します。

BMI	評価
18.5 未満	患者の体重は軽すぎます。食欲不振の傾向があるかもしれません。健康と体力を増進するために、体重を増やすことが推奨されます。よく分からない場合は、専門医に相談してください。
18.5 ~ 24.9	患者は標準的な体重です。
25 ~ 30 (前肥満)	患者は、軽度から中度の肥満です。既に罹っている病気（例えば糖尿病、高血圧、痛風、脂質代謝異常）がある場合には、体重を減らしたほうが良いでしょう。
30 超	早急な減量が必要です。代謝、循環、骨格に負担がかかっています。継続的な食事療法、多くの運動、行動トレーニングが推奨されます。よく分からない場合は、専門医に相談してください。

BMI を自動的に算定し、印刷する

この体重計を **seca 360° wireless** システムのワイヤレスプリンターおよび身長計と共に使用すると、BMI を自動的に算定し、印刷することができます。

注意事項

この機能を使用するためには、機器が 1 つのワイヤレスグループに共に登録されていることが前提条件になります（35 ページ「ワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless**」を参照）。

1. 体重を測定します。
2. 体重計のエンターボタン（**送信 / 印刷**）を短く押します。
測定値がワイヤレスプリンターに送信されます。ただし印刷はされません。
3. 身長測定を行います。
4. 身長計のエンターボタン（**送信 / 印刷**）を長く押します。
測定値がワイヤレスプリンターに送信されます。BMI が算定されます。
身長、体重、BMI が印刷されます。

測定結果をワイヤレス受信機器に送信する



体重計がワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** に組み込まれていると、ボタンを押して測定結果を受信可能な機器（例えば、ワイヤレスプリンターやUSB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン）に送信することができます。

- ◆ エンターボタン（送信 / 印刷）を押します。
 - 短くボタンを押す：測定結果を受信可能なすべての機器に送信する
 - 長くボタンを押す：測定結果をワイヤレスプリンターで印刷する

体重測定範囲の自動切替

この体重計では、3つの重量測定領域を使用することができます。重量測定領域1（→11←）では秤量が低く、体重表示の目盛が精緻に表示されます。重量測定領域2（→14←）では体重計の秤量がより大きく、それに合った体重表示の目盛で体重計を利用できます。重量測定領域3（→18←）では、最大秤量を利用できません。

体重計の電源をオンにすると、重量測定領域1がアクティブになります。特定の体重値を超えると、体重計が自動的に適切な重量測定領域に切り替わります。

重量測定領域1に再度戻すには、次の手順に従ってください：

- ◆ 体重計からすべての物を取り除きます。
重量測定領域1が再びアクティブになります。

体重計の電源をオフにする



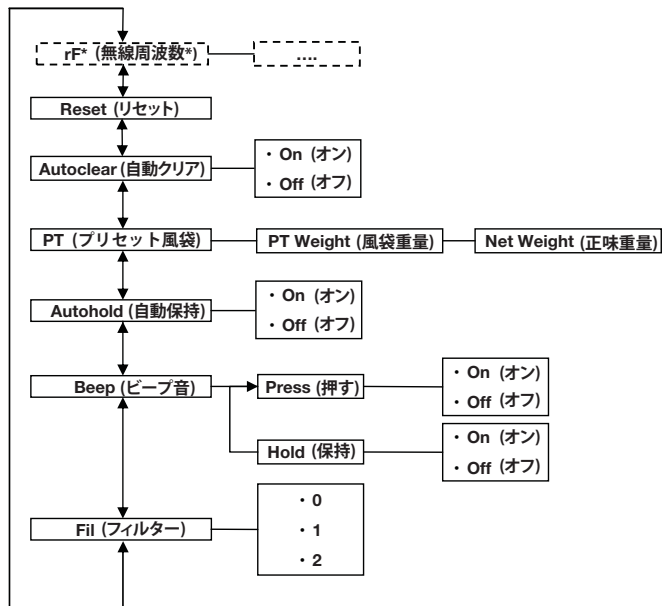
- ◆ スタートボタンを押します。

注意事項

充電電池での運用では、体重計に何も載せられていないと、しばらくして体重計は自動的にオフになります。

5.3 その他の機能（メニュー）

この体重計のメニューでは、その他の機能もご使用いただけます。そのため、体重計を使用条件に最もよく合うように設定できます。



*メニューポイント「rF」の説明については、37ページ「ワイヤレスグループ内の体重計の使用（メニュー）」をご覧ください。

メニュー内を移動する

1. 体重計の電源をオンにします。
2. 矢印ボタン（**体格指数 / メニュー**）を、メニューが呼び出されるまで押し続けます。
最後に選択したメニューポイントがディスプレイに表示されます（この場合：自動保持「AHOLD」）。
3. 矢印ボタンを、目的のメニューポイントがディスプレイに表示されるまで数回押します（この場合：抑制「FIL」）。
4. エンターボタン（**送信 / 印刷**）で選択を確定します。
メニューポイントまたはサブメニューの現在の設定が表示されます（この場合：レベル「0」）。

体格指数
▼メニュー

AHOLD

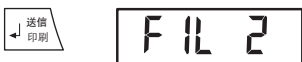
体格指数
▼メニュー

▲保持
風袋抑制

FIL

送信
印刷

FIL 0



- 設定を変更したり、他のサブメニューを呼び出すには、目的の設定（この場合：レベル「2」）が表示されるまで矢印ボタンを何度も押してください。
- エンターボタン（送信 / 印刷）で設定を確定します。メニューは自動的に終了します。
- その他の設定を行うには、メニューを再度呼び出し、すでに説明した方法で作業を進めます。

注意事項

約 24 秒間にわたってボタンが押されないと、メニューは自動的に終了します。

保存した値を自動的に削除する (AClr)

現在の測定結果が製品のメモリに残り、誤った BMI 計算が行われるのを防ぐために、測定結果が測定後 5 分後に自動削除されるよう体重計を設定することができます。

注意事項

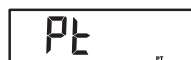
モデルによっては、この機能が工場出荷時にオンになっていることがあります。ご希望に応じて、この機能をオフにすることができます。



- メニューで項目「ACLR」を選択します。
- 選択を確定します。
- ご希望の設定を選択します：
 - On
 - Off
- 選択を確定します。メニューは自動的に終了します。

風袋重量を保存したままにする (Pt)

プリセット風袋機能を使うと、風袋重量を保存しておき、測定結果から自動的に差し引くことができます。例えば靴や衣服の総重量を保存しておき、患者が靴や服を着たまま体重を測定し、そこから靴や衣服の総重量を測定結果から差し引くことができます。



- メニューの項目「Pt」を選択します。「Pt」というメッセージが表示されます。
- 選択を確定します。ディスプレイに矢印が点滅します。最後に保存した風袋重量が表示されます。
- 保存されている値を使用したり、あるいは矢印ボタンを使って変更することができます。

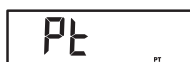
注意事項

値「0」を入力すると、この機能はオフになります。「Pt」というメッセージがディスプレイに表示されなくなります。

4. 選択を確定します。
5. 患者に体重計に乗ってもらってください。
患者の体重が表示されます。
保存されている風袋重量が自動的に差し引かれます。
6. この機能をオフにするには、メニューで項目「Pt」をもう一度選択します。
7. 選択を確定します。
機能がオフになりました。
メニューは自動的に終了します。



70.00 kg



Pt

注意事項

体重計の電源をオフにすると、この機能もオフになります。再び電源をオンにしても、「Pt」というメッセージはディスプレイに表示されません。

自動保持機能をオンにする (Ahold)

自動保持機能をオンにすると、体重測定を行ったときの測定結果は体重計に重さがかからなくなっても表示され続けます。そのため、体重測定を行うたびに保持機能を手動でオンにする必要がありません。

注意事項

モデルによっては、この機能が工場出荷時にオンになっていることがあります。ご希望に応じて、この機能をオフにすることができます。



AHOLD



On

1. メニューで項目「Ahold」を選択します。
2. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. ご希望の設定を選択します：
 - On
 - Off
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

シグナル音をオンにする (BEEP)

このボタンを押した時と、体重値が安定した時点でシグナル音を鳴らすかどうか設定することができます。後者の場合は、Hold/Autohold とともに共通で設定されます。

注意事項

「体重値が安定した時点でシグナル音を鳴らす」機能は、工場出荷時にオンになっています。ご希望に応じて、この機能はオフにすることができます。

bEEP

P-R-E-S-S

On

1. メニューの項目「bEEP」を選択します。
2. 選択を確定します。
3. メニューポイントを1つ選択してください：
 - Press（押す）：ボタンを押すとシグナル音が鳴る
 - Hold（保持）：体重値が安定するとシグナル音が鳴る
4. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
5. ご希望の設定を選択します：
 - On
 - Off
6. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
7. 2つ目の機能についてもシグナル音をオンにしたい場合は、この手順を繰り返してください。

抑制を設定する (Fil)

抑制 (Fil (フィルター)) により、体重測定の際の障害（例えば、患者の動きによるそれ）を減らすことができます。

F I L

F I L 0

F I L 2

1. メニューで項目「FIL」を選択します。
2. 選択を確定します。
現在の設定が表示されます。
3. 抑制レベルを選択します。
 - 0：抑制なし
 - 1：中程度の抑制
 - 2：大きな抑制
4. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

工場出荷時の設定に戻す (RESET)

以下の機能は、工場設定に戻すことができます：

機能	工場設定
自動保持 (Ahold)	モデルごとに異なる
シグナル音 (Press)	Off
シグナル音 (Hold)	On
抑制 (Fil)	0
自動クリア (Aclear)	モデルごとに異なる
プリセット風袋 (Pt)	0 kg
体格指数 (BMI) のための身長	170 cm
ワイヤレスモジュール (SYS)	Off
自動送信 (ASend)	Off
自動印刷 (APrt)	Off

注意事項

工場設定に戻すと、無線モジュールはオフになります。既存のワイヤレスグループに関する情報は維持されます。ワイヤレスグループを新たに再設定する必要はありません。

RESET

1. メニューで項目「rESEt」を選択します。
2. 選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。
3. 体重計の電源をオフにします。
工場設定に戻ります。体重計の電源を再びオンにすれば、その設定を使用できるようになります。

6. ワイヤレスネットワーク SECA 360° WIRELESS

6.1 はじめに

この製品はワイヤレスモジュールを備えています。ワイヤレスモジュールがあれば、測定結果を評価、記録するためにそのデータをワイヤレスで送信することができます。データの送信は、以下に挙げる製品に対して可能です。

- seca ワイヤレスプリンター
- seca USB ワイヤレスアダプター付パソコン

seca ワイヤレスグループ

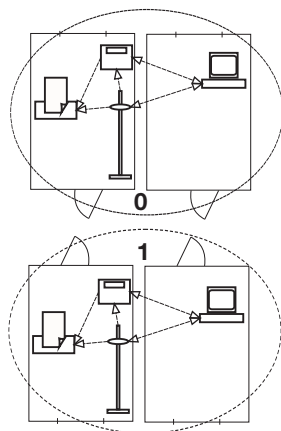
このワイヤレスネットワーク **seca 360° wireless** は、ワイヤレスグループとともに機能します。ワイヤレスグループとは、発信機器と受信機器のバーチャルグループです。同じタイプの複数の発信機器と受信機器を運用する場合、3つまでのワイヤレスグループ (0、1、2) を設定できます。

複数の検査室がそれぞれ同等の製品を備えて運用される場合、複数のワイヤレスグループを設定すれば、信頼できる方法で、かつ送信先を誤らずに測定値を送信することが可能になります。

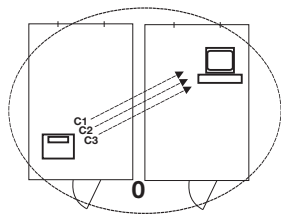
発信機器と受信機器の最大間隔は約 10 m です。それぞれの場所の特定の条件、例えば壁の厚さや特性により、この到達距離は短くなることもあります。

ワイヤレスグループごとに、以下の製品のコンビネーションが可能になります。

- 1 乳児用体重計
- 1 体重計
- 1 身長計
- 1seca ワイヤレスプリンター
- 1 seca USB ワイヤレスアダプター付パソコン



チャンネル



1 グループ内で、製品は3つのチャンネル（C1、C2、C3）で互いに交信します。それにより信頼でき、かつ支障のないデータ送信が可能になります。

この体重計でワイヤレスグループを設定すると、製品は最適なデータ送信を可能にする3つのチャンネルを提案します。提案されたチャンネル数を採用するようお勧めします。

もっと多くのワイヤレスグループを設定したいときなどは、チャンネル数（0から99まで）をマニュアルで選択することもできます。

データ送信を支障なく行うには、チャンネルはお互いに十分に離してください。チャンネル数は30以上の間隔をあけることを推奨します。どのチャンネル数も1つのチャンネルに対してのみ使用することができます。

設定例 クリニック内で3つのワイヤレスグループを設定する際のチャンネル数

- ワイヤレスグループ 0 C1=_0、C2=30、C3=60
- ワイヤレスグループ 1 C1=10、C2=40、C3=70
- ワイヤレスグループ 2 C1=20、C2=50、C3=80

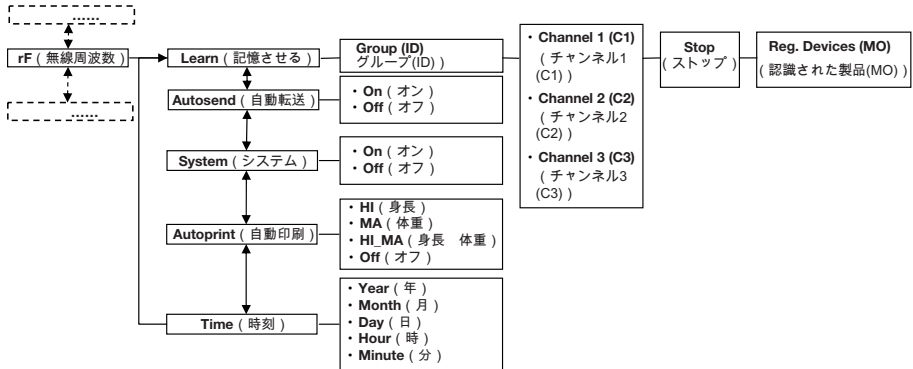
製品の認識

この体重計でワイヤレスグループを設定すると、グループはその他のアクティブな製品を **seca 360° wireless** システムから探します。認識された製品は、この体重計のディスプレイにモジュール（例えば「MO 3」）として表示されます。その数値には以下の意味があります。

- 1: 体重計
- 2: 身長計
- 3: ワイヤレスプリンター
- 4: seca USB ワイヤレスアダプター付パソコン
- 7: 乳児用体重計
- 5、6 および 8 ~ 12: システム拡張のための予備

6.2 ワイヤレスグループ内の体重計の使用（メニュー）

この製品を seca ワイヤレスグループの中で使用するのに必要なすべての機能は、サブメニュー「rF（無線周波数）」で説明されています。メニュー設定のための情報は、30 ページに記載されています。



ワイヤレスモジュールをオンにする (SYS)

この製品はワイヤレスモジュールをオフにして納品されます。ワイヤレスグループを設定する前にそれをオンにしてください。

注意事項

ワイヤレスモジュールをオンにすると、製品の電力消費が増加します。本製品をワイヤレスネットワーク内で運用する場合、ACアダプターの使用をお勧めします。

1. 製品をオンにします。
2. サブメニュー「rF（無線周波数）」でメニュー項目「SYS（システム）」を選択します。
3. その選択を確定してください。
4. 設定「On（オン）」を選択します。
5. その選択を確定してください。
メニューは自動的に終了します。

595

On

ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))

ワイヤレスグループを設定するには、次の手順で行ってください。

1. 製品をオンにします。
2. メニューを呼び出します。

rF

Lrn

Id 0

Id 1

C10

C230

C360

StOP

3. メニューで項目「rF」を選択します。
4. その選択を確定してください。
5. サブメニュー「rF」でメニュー項目「Lrn（記憶させる）」を選択します。
6. その選択を確定してください。

現在設定されているワイヤレスグループ（ここではワイヤレスグループ0「Id 0」）が表示されます。

ワイヤレスグループ「0」が既に存在する場合は、矢印ボタンで他のIDを選択してください（ここではワイヤレスグループ1「Id 1」）。

7. ワイヤレスグループの選択を確定してください。
製品は、チャンネル1のチャンネル数を提案します（ここでは「C10」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

8. チャンネル1に対する選択を確定してください。
製品は、チャンネル2のチャンネル数を提案します（ここでは「C230」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

注意事項

二桁のチャンネル数の表記は、空きスペースなしで行います。「C230」という表示は、チャンネル「2」、チャンネル数「30」を意味しています。

9. チャンネル2に対する選択を確定します。
製品は、チャンネル3のチャンネル数を提案します（ここでは「C360」）。
提案されたチャンネル数を受け入れるか、あるいは矢印ボタンを使って他のチャンネル数を設定します。

10. チャンネル3に対する選択を確定してください。
「StOP（ストップ）」というメッセージがディスプレイに表示されます。
製品は、電波が届く範囲にある他のワイヤレス通信機器からのシグナルを待ちます。

注意事項

製品の中には、それをワイヤレスグループに統合しようとする際に、スイッチをオンにするための特別な手続きを必要とするものがあります。それぞれの製品の取扱説明書に留意してください。

11. ワイヤレスグループに統合したい製品、例えばワイヤレスプリンターをオンにしてください。ワイヤレスプリンターが認識されると、ピーという音が聞こえます。

注意事項

ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合されたら、続いて印刷オプションを選択し（メニュー \rF\APrt）、時刻を設定します（メニュー \rF\TIME）。

12. このステップ 11. を、このワイヤレスグループに統合しようとするすべての製品に対して繰り返してください。
13. エンターボタンを押してサーチ手続きを終了します。
14. 矢印ボタンを押して、どの製品が認識されたかを表示してください（ここでは「MO 3」）。複数の製品をワイヤレスグループに統合したときには、矢印ボタンを複数回押し、すべての製品がこの体重計によって認識されていることを確認してください。
15. エンターボタンでメニューを終了させるか、メニューが自動的に終了するまで待ちます。

MO 3

自動送信をオンにする (ASend (自動送信))

測定結果を同じワイヤレスグループに登録されている、受信可能なすべての受信機器（例えばワイヤレスプリンター、USB ワイヤレスアダプター付パソコン）に自動的に送られるように、この製品を設定することができます。

注意事項

ワイヤレスプリンターを使用するときには、印刷オプションとして「Off」が設定されていないことを確認してください（40 ページ「印刷オプション（APrt（自動印刷））を選ぶ」を参照）。

1. 製品をオンにします。
2. サブメニュー「rF（無線周波数）」でメニュー項目「ASend（自動送信）」を選択し、その選択を確定します。

ASend

On

印刷オプション (APrt (自動印刷)) を選ぶ

APrt

PA

3. 設定「On (オン)」を選択し、その選択を確定します。
メニューは自動的に終了します。

測定結果をそのワイヤレスグループに登録されているワイヤレスプリンターで自動的に印刷できるように測定ステーションを設定することができます。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「Learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

1. 製品をオンにします。
2. サブメニュー「rF (無線周波数)」でメニュー項目「APrt」を選択し、その選択を確定します。
3. 製品の組み合わせに該当する設定を選びます。
 - HI: 身長計の測定結果
 - MA: 体重計の測定結果
 - HI_MA: 身長計および体重計の測定結果
 - Off (オフ): 自動印刷なし、体重測定中はエンターボタンを長く押し続けると印刷しません。
4. 選択を確定してください。
メニューは自動的に終了します。

時刻を設定する (Time (時刻))

tIME

YEA 10

ワイヤレスプリンターが測定結果に自動で日付と時刻を追加するようにこのシステムを設定することができます。それには一度この製品で日付と時刻を設定し、ワイヤレスプリンターの内蔵時計にそのデータを送信する必要があります。

注意事項

この機能にアクセスできるのは、「Learn (記憶させる)」機能を通じて seca ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに統合された場合に限られます。

1. 製品をオンにします。
2. サブメニュー「rF (無線周波数)」でメニュー項目「tIME」を選択します。
3. その選択を確定してください。
現在の「年」(YEA) の設定が表示されます。
4. 正しい年数を設定してください。
5. その選択を確定してください。

6. ステップ 4. とステップ 5. を「月」(Mon)、「日」(dAy)、「時」(hour)、「分」(Min) に対して繰り返します。
7. その都度、選択を確定します。
分の設定を確定するとメニューは自動的に終了します。
設定は自動的にワイヤレスプリンターに送信されます。
ワイヤレスプリンターは、自動的にすべてのプリントアウトに日付と時刻を追加します。

注意事項

ワイヤレスプリンターのその他の操作に関しては、その取扱説明書に留意してください。

7. 衛生管理



警告！

感電

この製品は、オン/オフボタンが押されると、たとえディスプレイが消えていても、電気が流れています。製品で液体を使用する場合、感電の可能性があります。

- 衛生管理を実施する前は、必ず製品のスイッチがオフになっていることを確認してください。
- 衛生管理を実施する前は、必ず電源プラグを引き抜いてください。
- 液体が製品に入り込まないようにしてください。



注意！

製品の破損

不適切な洗浄剤および消毒剤は、製品のデリケートな表面を損傷する可能性があります。

- 刺激性のクリーナーやクレンザーは使用しないでください。
- アルコールやベンジンは使用しないでください。
- 必ず、デリケートな表面に適した消毒液（中性洗剤）を使用してください。適切な消毒液（中性洗剤）は、専門店で購入できます。

7.1 清掃

- ◆ 製品の表面は必要に応じて、マイルドな石鹼液で湿らせた柔らかい布で清掃してください。

7.2 消毒

気をつけて！

製品の破損

目盛およびディスプレイ上の透明パネルはアクリルガラス製です。アクリルガラス製パネルは、不適切な消毒剤を使用するとひびが入ったり、曇ったりすることがあります。

- 必ず、デリケートな表面に適した消毒液（中性洗剤）を使用してください。適切な消毒液（中性洗剤）は、専門店で購入できます。

1. 消毒液（中性洗剤）の使用説明書を参照してください。
2. 製品の消毒は、適切な消毒液（中性洗剤）をしみこませたやわらかい布で定期的に行ってください。
3. 以下のタイミングにご注意ください。

消毒するタイミング	対象
皮膚が直接接触する測定の前	・ シート ・ ひじ掛け ・ 足台
皮膚が直接接触した測定の後	・ シート ・ ひじ掛け ・ 足台
必要に応じて	・ ディスプレイ ・ フィルムキーボード ・ グリップ

7.3 滅菌

製品の滅菌は許可されていません。

8. 機能点検

- ◆ 製品の使用前には必ず機能点検を行ってください。

完全な機能点検には以下が含まれます。

- ・ 機械的損傷の目視検査
- ・ 製品の調整の検査
- ・ 表示部の目視検査および機能検査
- ・ 「概観」の節で説明されている全操作部の機能検査
- ・ オプション・アクセサリーの機能検査

機能検査でエラーや異常が発見された場合は、まずはこの文書の「こんなときはどうする？」の節をたよりにそのエラーに対処してください。




注意！ 人身傷害

機能検査でエラーや異常が発見され、それを「こんなときはどうする？」の節をたよりにしても解決できなかった場合、それ以降、製品の使用は許されません。

- 製品の修理は seca サービスまたは正規のサービス担当者に依頼してください。
- この文書の「メンテナンス」の節に留意してください。
- この文書の「メンテナンス / 再検定」の節に留意してください。

9. こんなときはどうする？

問題	原因 / 対処法
体重がかかっても体重が表示されない。	体重計に電力供給が確保されていません。 - 体重計のスイッチがオンになっているか確認してください。 - バッテリーパックが正しく接続されているか確認してください。
体重測定の前に 0.00 が表示されない。	体重計の電源をオンにする前に、何か載っていた。 - 体重計から重みを取り除いてください。 - 体重計の電源をオフにした後、再度オンにしてください。
ある箇所が常時点灯している、またはまったく点灯しない。	該当する箇所に故障がある。 - メンテナンスサービスに連絡してください。

問題	原因 / 対処法
 が表示されている。	バッテリーパックの電圧が低下しています。 - バッテリーパックを早めに充電してください。
「bAtt」が表示される。	バッテリーパックが空です。 - バッテリーパックを充電してください。
「StOP」という表示が現れる。	最大測定重量を超過してしまった。 - 体重計から載っているものを降ろしてください。
「tEMP」が表示される。	体重計の周囲の温度が高すぎる、または低すぎる。 - 体重計を周囲の温度が +10℃から +40℃までの場所に設置してください。 - 体重計が周囲の温度になじむまで約 15 分待ちます。
電源オン後、初めて測定結果を送信し、シグナル音が 2 回聞こえた。	製品が、ワイヤレス受信機器 (seca ワイヤレスプリンターまたは USB ワイヤレスアダプター搭載のパソコン) に測定結果を送信できなかった。 - 体重計がワイヤレスネットワークに組み込まれていることを確認してください。 - 受信機器の電源がオンになっていることを確認してください。 受信が、近くにある HF (短波) 機器 (例えば携帯電話) によって妨害されている。 - HF (短波) 機器と、seca ワイヤレスネットワーク内の送信機器および受信機器との間の間隔を最低 1 m 空けてください。 注意事項 この障害が解消されないかぎり、以降の送信の試みでアラーム音が鳴ることはありません。
「rF」メニューに項目「SYS」しか表示されない。	ワイヤレスモジュールがオフになっている。 - ワイヤレスモジュールをオンにしてください (37 ページ「ワイヤレスモジュールをオンにする (SYS)」を参照)。
「rF」メニューに項目「SYS」と「Lrn」しか表示されない。	ワイヤレスモジュールはオンになっているが、ワイヤレスグループが未設定になっている。 - ワイヤレスグループを設定してください (37 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。

問題	原因 / 対処法
「rF」メニューに項目「APrt」と「Time」が表示されない。	<p>ワイヤレスプリンターがワイヤレスグループに登録されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスグループのメニューポイント「Lrn」でワイヤレスプリンターを登録してください (37 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。
メニューを呼び出した後、項目「rF」が表示されない。	<p>体重計のワイヤレスモジュールが故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> - メンテナンスサービスに連絡してください。
「Er:X:11」が表示される。	<p>体重計に過大な重さがかかっているか、体重計の一角に偏った重さがかかっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計に載っているものを降ろすか、均等に体重がかかるように配置してください。 - 体重計を再起動させます。
「Er:X:12」が表示される。	<p>体重計に過大な重さがかかった状態で、電源がオンになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計から重みを取り除いてください。 - 体重計を再起動させます。
「Er:X:16」が表示される。	<p>体重計が安定せずゼロ値を検出できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 体重計を再起動させます。
エンターボタン (送信 / 印刷) を押すと、「Er:X:71」が表示される。	<p>データ転送できない、無線モジュールがオフになっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 無線モジュールをオンにしてください (37 ページ「ワイヤレスモジュールをオンにする (SYS)」を参照)。
エンターボタン (送信 / 印刷) を押すと、「Er:X:72」が表示される。	<p>データ転送ができない、ワイヤレスグループが設定されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ワイヤレスグループを設定してください (37 ページ「ワイヤレスグループを設定する (Lrn (記憶させる))」を参照)。

10. メンテナンス / 再検定

10.1 メンテナンスおよび再検定についての情報

製品の再検定の前に、メンテナンスを実施することを推奨します。

気をつけて！

不適切なメンテナンスによる誤測定

- メンテナンスおよび修理は、必ず seca サービスまたは正規のサービス担当者にご依頼ください。
- 最寄のサービス担当者は、www.seca.com でお探しく下さい。あるいは info@seca.co.jp にメールしてください。

国内の法的規定に基づいて再検定は有資格者に依頼して行ってください。初回検定年は、型番プレートの CE マークの後ろに、指定された機関（ヘッセン度量衡局）の番号 0109 の上に表示されています。

1 つもしくは複数の安全標に抵触しているとき、もしくは度量衡メーター内容が有効な度量衡メーター標に一致していない場合には、その都度、再検定が必要になります。安全標に傷が付いている場合、seca サービスに直にご連絡ください。

10.2 度量衡メーター内容を検証する

この seca の体重計は検定を受けています。検定は、資格を有する機関の手によってのみ実施されます。これを確実にを行うために、この体重計は度量衡メーターを備えています。メーターは検定技術関連のデータの変更をすべて記録します。

この体重計が規定通りの検定を受けているかを確認したいときには、次のように行ってください。

1. 必要があれば体重計をオフにします。
2. 任意のボタンを押し続け、体重計をスタートさせます。



ディスプレイに数秒間、現在の度量衡メーター内容が点滅します。



- 提示された度量衡メーター内容を度量衡メーター標に登録された数値と比較します。

度量衡の検定が有効であるためには、両方の数値が一致している必要があります。標識とメーターの数値が一致していない場合には、再検定を行ってください。サービス担当者または seca サービスにお問い合わせください。再検定が実施された場合、新しい、更新された度量衡メーター標が度量衡メーター状態の標識に使用されます。この標識は、再検定を実施する有資格者によって追加スタンプによって固定されます。この度量衡メーター標は、seca サービスから入手できます。

11. 技術データ

11.1 一般的な技術データ

一般的な技術データ seca 963	
外形寸法 ・ 奥行 ・ 幅 ・ 高さ	810 mm 565 mm 840 mm
重量	約 24 kg
運転時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	+10° C ~ +40° C (50° F ~ 104° F) 700 ~ 1060 hPa 30 % ~ 80 % で結露しないこと
保管時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	-10° C ~ +65° C (14° F ~ 149° F) 700 ~ 1060 hPa 0 % ~ 95 % で結露しないこと
輸送時の環境条件 ・ 温度 ・ 気圧 ・ 湿度	-10° C ~ +65° C (14° F ~ 149° F) 700 ~ 1060 hPa 0 % ~ 95 % で結露しないこと
表示文字サイズ	25 mm
電源供給	バッテリーパック AC アダプター

一般的な技術データ seca 963	
消費電流 ・無線モジュールがオフの場合 ・無線モジュールがオンの場合	約 32 mA 約 50 mA
充電電池での運用における最大運転時間 ・無線モジュールがオフの場合 ・無線モジュールがオンの場合	約 2,400 分 AC アダプター使用を推奨
指令 93/42/EEC に準拠した医療機器 (ヨーロッパ内のみ)	測定機能付きのクラス I
EN 60601-1 : ・保護絶縁された製品、保護等級 II : ・タイプ B の電子医療機器 :	 
保護方式	IP20
運転方式	継続運用
無線転送 ・周波数帯 ・送信電力 ・適用規格	2.433 GHz ~ 2.480 GHz < 10 mW EN 300 328 EN 301 489-1 EN 301 489-17

11.2 重量測定データ

重量測定データ seca 963	
指令 2009/23/EC に準拠した検定 (ヨーロッパ内のみ)	クラス III
精度等級 (日本)	III
型式承認番号 (日本)	D156
最大測定重量 ・重量測定領域 1 ・重量測定領域 2 ・重量測定領域 3	150 kg 250 kg 300 kg
最小測定重量 ・重量測定領域 1 ・重量測定領域 2 ・重量測定領域 3	1 kg 2.0 kg 4.0 kg
表示単位 ・重量測定領域 1 ・重量測定領域 2 ・重量測定領域 3	50 g 100 g 200 g

重量測定データ seca 963	
風袋範囲	300 kg
初回検定時の精度	
• 重量測定領域 1、0 kg ~ 25 kg	±25 g
• 重量測定領域 1、25 kg ~ 100 kg	±50 g
• 重量測定領域 1、100 kg ~ 150 kg	±75 g
• 重量測定領域 2、0 kg ~ 50 kg	±50 g
• 重量測定領域 2、50 kg ~ 200 kg	±100 g
• 重量測定領域 2、200 kg ~ 250 kg	±150 g
• 重量測定領域 3、0 kg ~ 100 kg	±100 g
• 重量測定領域 3、100 kg ~ 300 kg	±200 g

12. オプションの付属品

seca 360° wireless 製品	商品番号
身長計 • seca 274 • seca 264	国ごとに異なる 国ごとに異なる
ワイヤレスプリンター • seca 360° wireless printer 465 • seca 360° wireless printer advanced 466	国ごとに異なる 国ごとに異なる
PC ソフトウェア • seca analytics 115	用途別ライセンスパッケージ
USB ワイヤレスアダプター • seca 360° wireless USB adapter 456	456-00-00-009

13. 交換部品

交換部品	商品番号
スイッチモード、AC アダプター： 100 ~ 240 V~/50 ~ 60 Hz / 12 V= / 0.5 A、 セーフティーカップリング装備	68-32-10-266
バッテリーパック	68-22-12-721
AC アダプターキャリアバッグ seca 471	471-00-00-009

14.廃棄処分について

14.1 製品



この製品は家庭ゴミで廃棄しないでください。この製品は、電子機器廃棄物として適切に廃棄してください。各国の規定を遵守してください。その他の情報は、こちらにお問い合わせください。

info@seca.co.jp

14.2 乾電池と充電電池



使用済みの乾電池および充電電池は、それが有害物質を含んでいるか否かに関わらず、家庭ゴミに捨てないでください。使用者には消費者として、乾電池や充電電池を地域の収集場所や販売業者の収集場所を通じて廃棄する法律で定められた義務があります。乾電池や充電電池は、必ず完全に放電した状態で引き渡してください。

15.保証

資材や製造時の不具合が原因とされる欠陥については、納品日より1年間の保証期間が適用されます。ただし、電池（充電電池）、ケーブル、ACアダプター、といった可動部品はすべて保証対象外となります。保証の対象となる不具合は、ご購入時の領収書を提示していただければ無償で修理いたします。保証書が保証している範囲以外は保証の対象にはなりません。本製品がお客様のご住所とは別の場所にある場合、往復の運送費はお客様のご負担になります。運搬中の損害で保証を請求することができるのは、運搬に純正の梱包材一式を使用し、その梱包内で本製品が発送時と同じ梱包状態で保護され、固定されていた場合のみです。そのため、すべての梱包材を保管しておいてください。

seca社テクニカルスタッフでない人が本製品を開けた場合、保証は失効します。

国外にお住まいのお客様につきましては、保証をご請求される場合、各国の販売店へ直接お問い合わせいただけますようお願いいたします。

seca 株式会社

〒 262-0011

千葉県千葉市花見川区三角町 94-2

電話：043-216-0850 (代表)

ファックス：043-216-0851

seca corporation

94-2 Sankakucho, Hanamigawaku

Chiba City, Chiba 262-0011, Japan

Phone: +81 43 21 60 85 0

Fax: +81 43 21 60 85 1

Medical Measuring Systems and Scales since 1840

seca gmbh & co. kg
Hammer Steindamm 9–25
22089 Hamburg · Germany
Telephone +49 40 20 00 00 0
Fax +49 40 20 00 00 50
info@seca.com

seca operates worldwide with headquarters
in Germany and branches in:

seca france
seca united kingdom
seca north america
seca schweiz
seca zhong guo
seca nihon
seca mexico
seca austria
seca polska
seca middle east
seca brasil
seca suomi

and with exclusive partners in
more than 110 countries.

All contact data under www.seca.com